

地域住民活動情報

コミュニティ自立支援プロジェクト 地域づくり塾

第4回地域づくり塾

10月26日、第4回地域づくり塾が農林会館で開催されました。

第4回の塾は2部に構成され、第1部のテーマは、楽しく続けられるコミュニケーションの「コツ」と題して、せんだい・みやぎNPセンター加藤哲夫代表理事の講話の後、地域課題を解決していただくための話し合いの場の進め方をグループ・ワークによって学びました。

グループ・ワークの話し合いの内容の一部を紹介します。(図1)

話し合いの場の進め方のポイントとして、参加者に議論が見えるような工夫を、議論を整理していくこと、どういう行動ができるか考えること、「ご近所の

底力（NHK番組）の問題解決の方法からヒントを得るなどが加藤講師から説明がありました。

さらに、第2部は「身体がカメラ」「番組はオマケ」誰でもできる住民ディレクター活動をテーマに、株式会社プリズム代表取締役岸本晃氏による講話とグループでの実技などが行われました。



自己紹介の映像を撮影する参加者

グループの実技では、5分間の番組を企画から撮影、出演などまで、一人ひとりが役割分担をして番組制作を体験し、参加者の創意工夫による個性ある楽しい番組が出来上がりました。

参加者からは、「町おこしまちづくりのひとつのツールとして、住民ディレクターが使えるそうだといいことがわかった」「みんなでワイワイテレビを作ることができて楽しかった。楽しく作ることができれば継続していけそうです。このようなテレビの作り方があれば、ですね」などの感想がありました。



5分間の番組制作を体験

第5回地域づくり塾

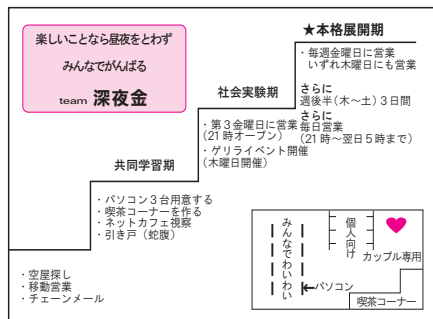
【最終回】

第5回の地域づくり塾は、11月17日、19名が出席し農林会館で開催されました。

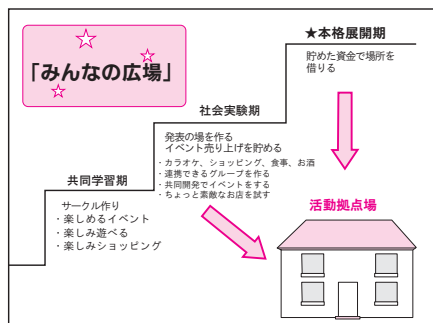
最終回の講師は、せんだい・みやぎNP Oセンター加藤代表理事で、テーマは「住田町のために何ができるか考えよう」でした。

加藤講師の講話の後、グループ毎に「住田町のためにできること」を段階的に考え、まとめ、発表しました。各グループの発表内容は次のとおりです。

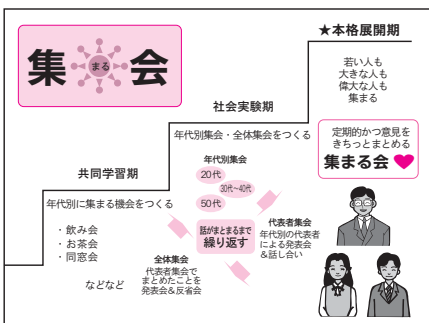
Aグループ



Dグループ



Cグループ



Bグループ



全5回の地域づくり塾を通じて、参加者から次のような感想がありました。

「何かを始めるには、やっぱり自分からやりたいことを発信していかなければいけないなあと思いました。自分と同じ考えの人達が集まって話し合いをするのは楽しかったです。今日、考えたイベントをいつかできたらいいなあ」

「夢ってそんなに遠くない。ちょっと突き詰めて考えてみたらできるんだよ」という加藤講師の言葉が印象深く残りました。

「作業を通して、やりたいこと、やるための手段、段取りが具体的にわかったような気がします」

「住田のためにちょっとでも役にたてばいいなあ。これからも進展するためにちよっとでも役に立てればと思う。それが何人も人が集まればきっと何かができると思う」

【図1】 Bグループ「ごみの分別について」

問題は何か？

汚くしていると他のごみまで捨てられる町並み（景観）が悪くなる
ポイ捨てする人が増える
話し合いの場を設定しても当事者が来ない
ごみ当番制が機能していない
ごみ当番は汚いままだと嫌な気分なので頑張って掃除しているが辛い

原因は何か？

近所づきあいが無い
アパートの住人に分別するよう強く言えない
地域の人への声掛けが無い
協力を仰ごうと意見を発しない
誰かがまた後でやってくれるだろう...
ゴミの分別に細かいところまで頭が回らない
基本的に高温で燃やせばすべて灰になるから...

ビジョンは？

きちんとみんなが分別できる
みんなでできることを決めて行える
きれいな町並みにする
町に愛着が持てるようになる
嫌なことをする人が減る

解決策は？

新しい人も巻き込める話し合いの場をつくる
新住人歓迎会を開催しごみのルールを伝える
メール配信による情報提供
楽しくごみの分別するイベントを開催
リサイクル資源の回収を行い成果を得る
当番でごみ出しの監視をする



検討したアイデアを発表

グループごとに「できること」を検討

結婚支援情報

No.8

お問い合わせ
町づくり推進課
自立推進担当
☎46-2114 (内線) 261

段階を踏んで考えることで、問題が明確になり、その解決のために何をすべきなのかかわかるということがはつきりとわかった」

今後、地域づくり塾に参加した方々の地域での活動などを見守り、支援をお願いいたします。

参加した方々は「一人で悩んでいたのが、暗闇の中に光を見たような気持ちになった」「気持ちが楽になった。次は友達を誘って参加したい」などの感想がありました。